

提出日 2024 年 10 月 4 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化・ビジネス観光	学科	3	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/英語研修)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 19 日 ~ 2024 年 9 月 27 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	アイルランド	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、英語スキルを上げるためです。私は国際線のCAになることが将来の目標です。そのためには英語のスピーキング、リスニング力が必要なので、今回の留学を通して英語での日常会話やコミュニケーションの取り方を学ぼうと思いました。留学先にアイルランドを選んだ理由は言語が英語で、あまり日本人が少ないため、日本語に頼ることなく英語をしっかりと学べると思ったからです。また、ダブリンは治安も良く、歴史的建造物が多いので、異文化について良く知ることができると思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	アイルランドでは月、水、木、金曜日の週4回、市内にある大学に通いました。授業は9時から13時までの日と9時から16時までの日がありました。授業はいろいろな国からの学生が集まる留学生クラスで受けました。授業でペアワークやグループディスカッションがあったので、それをきっかけに友達を作ることができました。授業の後には友達とカフェに行ったり、お互いの国について話をしたりしました。休日には”モハーの断壁のツアー”に参加したり、アイルランドの伝統的なダンスであるアイリッシュダンスの公演を見に行きました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回のアイルランド留学を通して英語スキルを上げるという目標は達成できたと思います。周りに日本人がほほいさない環境で常に英語を聞いたり話したりすることで、留学前よりも確実に理解できるようになりました。また、留学をしたことで日本とは異なる文化についてよく知ることができました。例えばバスの乗り方、レストランでの注文の仕方、食事の仕方などです。初めは何も知らなくて困ることもありましたが、周りの友達やホストファミリーが教えてくれたり、自分で調べたりすることで知ることができました。私が特に驚いたことはレストランでの注文の仕方です。アイルランドでは注文をする時は店員を呼ぶのではなく、店員が席へ来てくれるのを待ちます。日本で当たり前のことが異国ではマナー違反になってしまうこともあるので、事前にその国について知っておくことはとても大切だと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回のアイルランド留学で知った自分の英語の苦手な部分を克服できるようにこれからも勉強しようと思いました。また、留学を通して、知識があることはとても大切だということを知りました。例えば英単語、その国のマナー、ルールです。なので今後興味のあることや文化について勉強し、知識をつけようと思います。私は国際線のCAに将来なりたいので、この留学経験を今後の就職活動の強みとして活かしていこうと思います。そのためにも留学で学んだことを忘れず、自分の弱点だと思った点を改善していこうと思います。
5. 自由記述	私のホストファミリーはDeeというおばあさんでした。Deeはとても優しくかったです。夕食の時、その日あったことやお互いの家族について話をしました。彼女にアイルランドの郷土料理を教えてもらい、一緒に作りました。ホストファミリーとの交流はその国について知るとても大切な機会だと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化観光・ビジネス	学科	3	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/英語研修)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 23 日 ~ 2024 年 9 月 22 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	アイルランド	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は英語力向上だけでなく、新しいことに挑戦し自分自身を成長させるためにアイルランドへの留学を決めました。また、1ヶ月間のホームステイを通じて、アイルランドの文化や生活習慣を直接体験することを目的としていました。その他にも、現地で多くの友人を作り、異なる文化背景を持つ人々と積極的にコミュニケーションを取ることにも目的としていました。目標は、この経験を通じて、国際的な視野を広げ、将来のキャリアに役立てることです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、週4日授業を受けていました。月曜日と金曜日は授業が朝9時から13時まででしたが、水曜日と木曜日はさらに14時から16時までの午後の授業もありました。内容は英語のスキル向上を目的としたものが中心で、リスニングやスピーキング、ライティングなどを重点的に学びました。休みの日には、ゴールウェイやグレンダロホといったアイルランドの美しい観光地を巡るツアーに参加しました。また、学校終わりにはダブリン市内まで買い物に行ったり、友達と遊んだりしていました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	アイルランドでの1ヶ月の留学を通して、私は多くの新しい発見や学びを得ることができました。特に、異文化に身を置くことで、日本では体験できないことを体験することができて自分の視野が広がったと感じます。授業では英語のスキル向上を目指して学びましたが、実際に多くの人々とコミュニケーションを取る中で、教科書には載っていない様々な国の英語の発音の癖や、ボディランゲージを直接感じる事ができたことが大きな収穫です。また、アイルランドの観光地を訪れるツアーに参加した際、今まで知らなかった自然や歴史に触れることができました。特にトリニティカレッジ図書館の美しさとその中で繋がっている博物館の楽しさはとても印象に残っています。目的としていた「現地での友達作り」も順調に進み、異なる文化背景を持つ人々との交流を通して、多様な考え方や価値観に触れることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学中に学んだ異文化理解やコミュニケーション能力を活かし、将来は観光業や国際交流の分野で働き、多様な背景を持つ人々と協力しながら、新しい価値を創造したいです。また、友人や同僚との交流を通して、グローバルな視点を持ち続け、柔軟な考え方で物事に取り組む姿勢を大切にしていきたいと思っています。それらを叶えるために、まずは英語力を磨き続け、国際的な場で活躍できるスキルを身につけたいと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 30 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/英語研修)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 12 日 ~ 2024 年 9 月 6 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	アイルランド	留学先大学名	グリフィス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した目的は、英語能力の向上と視野を広げるためです。英語能力の向上をめざしたのは将来の夢や今後の目標があるためです。私が将来にめざしていることは、海外で仕事ををすることもしくは英語を使い社会で活躍できる人間になることです。そのためには、英語を第一言語とする人たちと接していくことは必要であると考えました。そして日本以外で生活することで得られる知識や考え方などによって視野を広くし、様々な分野で活かしていくことができると考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地のダブリンでは14時ごろまで学校があり、その後から自分のしたいことや勉強などをしていました。私の受けていた授業は話すことがメインではなく、文法や読みをメインとしていたので話すことに慣れるまでは大変でした。しかし毎日の昼食時には友達と話す機会があり、英語で友達と話すことは新鮮で楽しかったです。放課後には友達と様々な国の料理を食べに行ったり、観光地などを巡ったことは良い経験となりました。他にはクロスフィットのトレーニングに参加していたので、そこでも多くの人と話すようにし、少しでも英語を話す時間を増やしていました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回の研修で多くの成果を得られることができました。日常会話を話すことができる程度の能力まで向上させるという目標は、ほぼ達成できたと感じます。最初の頃は受け答えの中で言葉がわからないことがよくあり、詰まりながら話していたこともあったので、ホストマザーや友達などに理解されないこともありました。そのような時には何と答えればよいかを教えてもらい、対応の仕方を覚えていくうちに少し会話がスムーズになり、スーパーやコンビニなどでも注文することが楽しくなっていました。しかし毎回のよう初めでのフレーズが出てくるため、新しい言葉を覚えることは大変でしたし、聞き取るだけで精いっぱいの時もありました。今回、私自身が成長できたと実感できるくらいの変化があったことは私にとって大きな自信になりました。そして一人で海外という全く詳しくない土地に行ったことで、自分で解決する力がついたと感じました。他にはいろいろな国の人と接することで、私とは異なった価値観や視点から物事を判断することの大切さを学ぶことができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	これからの私生活では自分の意見はしっかり出しつつ、他人の意見はどのような観点からなされているものかなど、様々な視点で物事を判断していきたいです。学校生活では英語を今まで以上に授業内で使い、友達とも英語で話すことができるくらいに能力を上げていくことが目標です。そして卒業までに、就職するために必要な資格等を取っ得し、勉学にも励もうと思っています。今の目標は来年の交換留学生となることで、今後も継続して勉強をしていこうと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

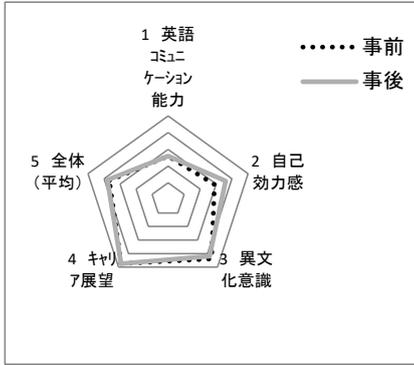
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2024年度 夏期語学研修(個人型/英語) 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:3名

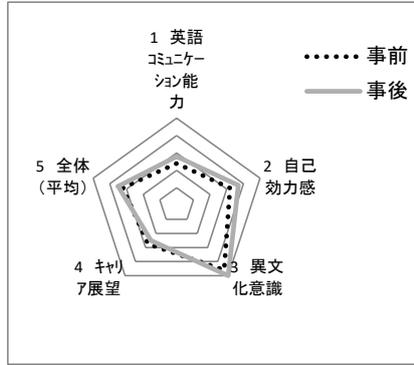
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	2.6
2 自己効力感	2.9	3.6
3 異文化意識	4.4	4.2
4 キャリア展望	4.8	4.8
5 全体(平均)	3.7	3.8



【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	2.8
2 自己効力感	3.2	3.7
3 異文化意識	4.6	5.0
4 キャリア展望	2.8	2.5
5 全体(平均)	3.2	3.5



【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	2.0
2 自己効力感	2.7	3.1
3 異文化意識	4.0	4.2
4 キャリア展望	3.5	2.8
5 全体(平均)	3.0	3.0

